

平成 28 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 高田福祉会	代表者	理事長 小菅貞一	法人・事業所の特徴	平成 20 年 6 月に併設するサテライト型特別養護老人ホーム笛吹の里とともに開設された、のんびりと穏やかな雰囲気施設の施設です。地域交流が広がり恒例となった夏の納涼祭には毎年たくさんの方から参加いただいています。利用される方それぞれの「その人らしい暮らし」「～したい」が少しでも実現できるように、本人の思いを大切にし、家族や地域の理解や協力を得ながら「訪問」「通い」「泊まり」を組み合わせた柔軟な介護サービスの提供に努めています。
事業所名	ケアホーム笛吹の里	管理者	瀬下 善人		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	高田の郷地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	0 人	4 人	1 人	1 人	1 人	人	5 人	人	12 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の 確認	職員が意識して得られるようになった情報をうまく活用できるよう、情報の整理、共有のより良い仕組み作りに取り組みます。小規模多機能型居宅介護を正しく理解し、多職種、関係機関が協力連携し、その特性を十分に活かせる事業運営を目指します。	担当者会議への介護職員の参加や普段からの関わり方を工夫したことで気付きや情報を得る機会が増えたが、それを十分に活かした支援につなげるところまではいかなかった。 それぞれの項目に対する取り組み結果は事業所自己評価を参照下さい。	◆利用者アンケートを取り積極的に他者からの評価を受けようとし、事業所のより良い運営に努めようとする姿勢は素晴らしい。◆事前面接から複数職種が関わることで「見たことがある顔が増え安心する」ということが増えることがとても良いことと思います。◆サービス利用開始から1ヶ月程度経過した後のモニタリングがあれば更にレベルアップすると思います。◆達成可能な計画になっていると思いますので頑張ってください。◆今自分が関わりを持って接している全ての相手に対しその人が持つ大切な時間の中に自分が存在しているんだと達成につなげてほしい。◆何がやりにくいか気になる様子の情報交換に努めて、計画的な準備を可能としてほしい。◆何とかできているが多く見られるが、達成できるように活動してほしい。◆ほとんどの項目について改善していこうという姿勢が見受けられた。意識することによって何らかの改善ができています。◆小規模多機能型居宅介護についての勉強会を行ったこと、利用者アンケートの実施と笛吹の里の具体的サービスの説明、地域の困り事に対してどんな支援ができるのか検討を行う等前向きな姿勢が伝わってきた。◆全体的にかなり良いレベルにあると思う。できている点は可成り難易度の高いものがほとんどだと思う。今できている点がむしろ基本的な大切な内容であるという事も言えるのではないかな。特異な点を強調するあまり利用者が望むサービスがおろそかにならないようにしてもらいたい。◆自己評価の意味について、自分自身の事のみを答えるのか、それとも笛吹の里トータルとしてやっていたりすることはできていると答えて良いのか、人によって答え方によって答えがチグハグにならないだろうか。設問によっては自分自身ではなく笛吹の里としてできているから OK であるというものもあるのではないかな。	①利用者情報の整理、共有、活用②家族や地域との関わり強化③業務改善と個別対応の強化の3点を重点課題として取り組み、併せて特養笛吹の里と協働し、地域課題に取り組みながら、介護・福祉拠点としての役割を担える施設運営を目指す。
B. 事業所の しつらえ・ 環境	施設を利用する方が快適に過ごせるよう、施設設備の点検・整備に努めます。地域の交流や相談が気軽にできる地域に開かれた施設を目指します。	経年劣化による設備不良がありますが、都度業者に依頼し改修を行っています。ユニット毎に工夫して季節の飾り付けをおこなう等、利用者、入居者が季節を感じながら楽しく過ごすことができるよう取り組みました。	◆2ヶ月に1回訪れる程度なので詳細はわからないが、感じている事は利用者の方を大切にしていることとのびのびとした、しかも穏やかな雰囲気があるということです。◆地域の人が相談しやすくすることについて、どんなことを相談すればよいか、ほとんどの人はわからないのではないかなと思う。例えば「こういったことを相談してもいいのですよ」といった風にもっと分かりやすくしてもらった方が敷居が低くなるのではないだろうか。◆利用される方を大切にしてくれるところだと思う。◆イベント、行事を多くなされている。スタッフが良い。◆ふえふき通信で施設内容の紹介も外部に向けてきちんとあり、今後も継続していただきたいと思います。玄関に季節ごとのオブジェがあり工夫されていると感じます。◆環境整備がされているので気持ち良い環境となっている。◆建物が立った時には違和感があったが今では地域に溶け込みなじんでいる。◆私は利用していてとても満足している。職員が親切に対応してくれていて、自宅に帰れば一人なので施設に通ってくることを今ではとても楽しみにしている。	利用される方が快適に過ごせるよう設備の点検整備を引き続き実施します。 相談に来られた方の話を良く聞き少しでも肩の荷が下りるような働きかけができるように相談窓口としての機能の充実を図ります。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>当事業所がどのようなサービスを提供しているのか、小規模多機能型居宅介護と何かを、地域のより多くの方に理解していただき、地域にあるメリットを積極的にアピールし、事業所の認知度向上を図ります。</p>	<p>運営推進会議でサービス内容の説明会を開催しました。また、地域ケア会議の場で小規模多機能型居宅介護について説明する機会をいただき、民生委員やケアマネジャー等多くの方に小規模多機能について触れていただくことができました。</p>	<p>◆道路脇に施設の看板が設置されている（さらに設置個所を増やしていただければなお良い）。◆保育園児が10月に敬老会の時に来てくれていて、春・夏にも利用者との交流会ができるとよいと思う。子どもの持つ力は偉大なので。◆研修会を実施する等地域への働き掛けがある。◆小規模多機能型居宅介護サービスは説明を受けるが実際に触れてみないとわからないものと思う。これ程きめ細やかな支援というか、利用者が自宅で生活することを可能にする支援だともうひとつ地域の人に知ってもらい、理解してもらうようにアピールしてほしい。◆地域との関わりがどのくらいあるのか、まだよくわからないため勉強します。◆まだまだ介護に関してのことがわからない家庭が多いかと思えます。どのような事業所（施設）がありどのようにしたら入所できるのか、又、介護の度合いによりいろんな事業所があることを知ってもらえるよう話ができればいいなと思います。</p>	<p>介護が必要になっても施設入所以外の選択肢があること、笛吹の里のサービスや取り組みを引き続きアピールしていき、地域における介護・福祉の拠点施設として認知されるよう取り組んでいく。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取り組み</p>	<p>利用者が生活する地域での行事や活用できる社会資源を把握し、利用者の意向に沿った地域交流や地域支援が実現できるよう、担当者会議の開催や地域の方との交流機会をより多く持ち、利用者家族や関係者の理解や協力が得られるように、多職種が協働して取り組み、地域との関係強化を図ります。</p>	<p>利用者本人に関係の深い近隣住民や関係機関を含めた担当者会議の開催に努めています。お花見等に出掛けたり、寿司を食べに行き等施設利用以外の楽しみを提供しています。今年度は城下町高田花ロードに参加しフラワー賞をいただくことができました。訪問サービスの強化により、在宅で過ごしたい一人暮らしの利用者の生活に必要なサービスを提供し支援しています。</p>	<p>◆利用者や家族の意向もあると思うが、家族とのコミュニケーションがもっととれていけば地域のイベント情報等がわかると思う。◆地域行事に参加すると、それを支援する側が大変ですが、できることからしていただきたいと思えます（事だけでなく物でも可）。◆地域の行事等を少しでも聞いてそれを活かせるようにしていきたい。◆いろんな人たちの意向に沿った地域交流がどんなものがあるか話し相談できたら良いのではないかな。◆自分の住んでいる町内での行事までどんなものがあるか、ピックアップしてみると、賽ノ神、春秋の祭礼、夏祭り、運動会等であり、こういったものに笛吹の里の利用者の方が参加できるかどうか、また、参加して良かったと思われるかどうか不明である。◆笛吹の里で毎年行われている夏祭りは、参加させてもらっているが関係者の努力の賜物と思われ、非常に楽しい催しである。今後も続けて行ってほしい。◆私は私が住む町内の老人会に入っている。集まりには必ず参加していたが、足を悪くしてから参加することができなくなった。現在も会費は納めており在籍だけしている状況が続いています。</p>	<p>利用者が考える「その人らしい暮らし」「～したい」に対し、家族はどう思うのか、また、それに協力してくれる地域の方や社会資源があるかを再確認し、利用者本人を含めた関係者全員で支援計画を検討し、実行、評価していく中で、利用者の意向に沿った個別の対応ができるよう取り組んでいく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>地域密着サービス、また、小規模多機能型居宅介護事業を正しく理解していただけるよう働きかけ、運営推進会議が地域のニーズを把握する意見交換の場となり、地域の介護力向上に寄与できるよう、会議運営の改善を図ります。</p>	<p>会議で当事業所のサービス内容や取り組みを説明することができました。これまで施設の運営状況や行事などの報告事項が多かったが、徐々に地域の課題についての意見交換や検討もできるようになってきているのではないかと感じています。</p>	<p>◆会議の場が意見交換の場と思えます。積極的に議題を提出したいと思えます。◆会議は1時間で終了しありがたい時もあるが、これで良いのかと疑問になるときがある。地域住民の研修の場でもあると思うので、事例検討や研修内容を取り入れた会議にさせていただくと嬉しい。◆行事のお知らせや報告等を丁寧にしていただいているので事業所の行事についてはとても良くわかりました。今後は地域が抱える介護、高齢者支援等の問題を深めて話し合えるよう会議の工夫をお願いします。◆運営推進会議に利用者の方が出席し、意見を言われるのは非常に良いと思う。発言が少ないが更に言葉を増やしてほしいと思う。◆地域で認知症の人で問題のある人に対して笛吹の里の管理者が行ったこと、つまり、関係があると思う人を全員集めて、問題の整理と今後の方向について話し合ったこと（2回参加）は非常に大切なことであり評価すべきことと思う。◆地域での取り組みが良くできている。これからも意見、改善に努めたいと思えます。◆委員さんからの意見を改善につなげていければいいと思います。</p>	<p>平成29年度運営推進会議では、事業報告のみでなく、地域課題について話し合ったり、事例検討や研修を開催したりする等、多職種が集まる機会を十分に活かせるように会議運営に努めます。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>火災以外を想定した訓練の実施。災害時の一時避難場所としての施設利用に向けた具体的な準備を進め、近隣住民との協力強化を図ります。</p>	<p>今年度自衛消防訓練を3回実施し、炊き出しや寝具を使用した避難の実践等これまでおこなわなかった総合訓練以外の訓練にも取り組みました。市と協定を結び、災害発生時には福祉避難所として対象者を受け入れることとなりました。</p>	<p>◆災害時、市指定の避難所より近い事業所は、場合によっては頼りになり安心できる場所となると思う。◆火災以外の想定ではなかったが、夜間の火災を想定し、今までにない形式での訓練は有効だったと思う。◆災害時施設利用に向けた具体的な準備のマニュアル作り、事業所の防災訓練の実施（地域の方を含めて）を今後も継続していただきたい。◆地域の防災訓練日の把握もされ、参加することも検討してみたい。◆火災等を想定した訓練を毎年定期的に行っている事は良いことと思う。要介護のたくさんの人をいかに安全に避難させるか普段より考えて対応することが万が一の場合にも役立ってくるものと思う。レベルが上がってきていると思うので、今度は抜き打ちの訓練を行ってみるのも、実力を知るうえでは必要になるのではないだろうか。</p>	<p>自衛消防訓練を年3回計画し、災害対策についての内部研修を開催する予定です。災害対策マニュアルについて再度確認し、必要であれば見直しを防災委員会で検討します。</p>